

自校史教育が高校生の進路選択に及ぼす影響に関する研究(3)

— 進路指導の改善と大学に関する情報提供の充実 —

小宮山道夫 小池 聖一 西原 利典 宮本 浩治

1. はじめに

本研究は、広島大学附属高等学校の生徒に対し、広島大学および同附属学校の歴史についての授業を受講させることにより、自校の歴史とともに、広島大学のみならず日本の大学教育制度に対する理解を深めさせることを通じ、大学や大学進学の意味について考えさせる機会を提供することが、生徒たち自身の存在意義の理解や将来像の確立にどのように影響するかを検証しようとするものである。

本研究の動機および研究方法については第1稿(自校史教育が高校生の進路選択に及ぼす影響に関する研究(1)—進路指導の改善と大学に関する情報提供の充実—『広島大学 学部・附属学校共同研究機構研究紀要』第35号, 2007年3月)を参照願いたい。

2. 研究の対象および事前調査の内容

平成20年度の附属高第1学年の生徒205名を対象に、生徒にとって自校史講義と位置付く第1講義「広島大学附属高等学校の歴史」および生徒にとって比較的身近な広島大学を例にみながら日本の大学教育制度に対する理解を深めさせる第2講義「日本の大学の歴史」を提供した。これらの授業の前後にアンケート調査を実施し、生徒たちの意識の変化をみた。

対象生徒数および回答者数については表1にみるとおりである。表中の括弧内の数字は女子で内数を表す(以下同様)。生徒205名のうち、事前調査に回答を得られたのは188名分であった。事後調査については10月8日実施の第1講義後の調査が198名分(事後調査1)、10月15日実施の第2講義後の調査が189名分(事後調査2)、また同日に講義全体について行った調査が187名分(事後調査3)回収することが出来た。このうち、事前調査に関しては調査回答に矛盾の生じた1組の男子1名と、5組の男子2名の合計3名の回答については分析対象から除外せざるをえなかった。また事後調査2で1組に1名、事後調査3で1, 2, 3組

に各1名ずつ性別の判別できない回答があり、これも除外した。

昨年と同様に、調査対象の過去の進学動向を調べるため、附属中学校や附属高校へ進学理由を質問した。附属中学出身者数は表2にみるとおりである。

附属中学出身者107名に対し、その進学理由を最大3つまで回答させた結果が表3である。全体で269件の回答があり、そのうちの24.9%にのぼる67件が「A. 中高一貫」を理由としてあげている。次いで「B. 男女共学」の19.0%、「G. 校風」の10.0%と続いている。「B. 男女共学」と「G. 校風」がほぼ同率であった昨年の学年と比べると「G. 校風」の低下が目立つ。ちなみに「E. 歴史・伝統」を選択する生徒が少ないのは昨年の学年と同様である。また昨年は「O. その他」を選択する生徒はいなかったが、今年は「O. その他」の回答が9.7%を占めた。回答で多かったのは、私立と違いお金がかからない(9件)、附属小学校から通っている(7件)の2つであった。

附属高への進学理由について尋ねた結果が表4である。全体で402件の回答があり、「A. 中高一貫」が20.4%、「G. 校風」が14.7%、「B. 男女共学」が12.4%と続いている。高校からの受験入学者が「G. 校風」の割合を引き上げているものと推察できる。中学からの持ち上がりの生徒に「G. 校風」を理由としてあげる者が少ない分、昨年の学年との違いが出ているといえそうである。

このような母集団に対し、大学進学についてどの程度具体的に考えているか、また大学や広島大学についてどの程度関心をもっているかを調べたのが、講義に先だって行った事前調査である。

大学進学については、表5のとおり回答があり、全体の37.3%(男子35.2%, 女子40.0%)が具体的に考えていることがわかった。昨年に比べるとそれぞれ5%程度落ち込んでいる。

進学したい大学の所在地の分布を表6に示した。最

大第3候補まで回答させる形式であり、156の地域の回答があった。表5との整合性を欠くのは複数回答によることのほかに、「具体化」の内容を地域にとどめるのか、大学名までとするのか、あるいはそれ以上の具体化とするのか、生徒の解釈に違いがあったためである。表5において具体的に考えていないと回答したうちの20名の生徒が所在地に回答している事実がこれを物語る。昨年同率（約30%）で首位だった「B. 関東」と「F. 中国」が28%台に後退し、「E. 近畿」が34.0%と伸びている。男女の違いでは女子が39.1%で「F. 中国」全体を引き上げているのに対し、男子が36.9%で「E. 近畿」全体を引き上げているのが特徴的である。

具体的な志望校について志望者数順に示せば、広島大学（35名28.2%）、京都大学（20名16.1%）、東京大学（13名10.5%）、大阪大学（9名7.3%）、一橋大学（7名5.6%）、神戸大学（6名4.8%）、九州大学（5名4.0%）、早稲田大学、国立大学（各4名3.2%）、東京工業大学（3名2.4%）、名古屋大学（2名1.6%）、北海道大学、弘前大学、島根大学、東京医科歯科大学、東京芸術大学、名古屋工業大学、大阪教育大学、防衛医大、大阪府立大学、慶応大学、同志社大学（各1名0.8%）となる。

男女別にみると、男子は京都大学（15名21.4%）、広島大学（13名18.6%）、東京大学（9名12.9%）、一橋大学（5名4.3%）、国立の大学（4名7.1%）、大阪大学、神戸大学、九州大学、東京工業大学（各3名4.3%）、名古屋大学、早稲田大学（各2名2.9%）、北海道大学、名古屋工業大学、横浜国立大学、防衛医科大、同志社大学（各1名1.4%）の順であった。女子は広島大学（22名40.7%）、大阪大学（6名11.1%）、京都大学（5名9.3%）、東京大学（4名7.4%）、神戸大学（3名5.6%）、九州大学、一橋大学、早稲田大学（各2名3.7%）、横浜国立大学、弘前大学、島根大学、東京医科歯科大学、東京芸術大学、大阪教育大学、大阪府立大学、慶応大学（各1名1.9%）の順であった。

志望校もしくは志望する大学所在地について、その志望動機とともに示したのが表7である。そもそも志望動機などというものは、その生徒の性向、目標、学力、所持する情報量、思惑、回答時の心理状態など様々な要因が複合しているものである。また、第3志望校まで回答させているため志望校と志望動機は必ずしも一致していない場合がある。しかし回答をみるとおよそ5種に区分できる。

今年の調査回答で特徴的なのは、志望校について学科レベルまで具体的に回答する例がみられることであった。このような生徒を目標確定型とした。また、大学に関する情報がある程度把握し、その情報が正しい

いかどうかは別として、またその情報から行った大学選択が正しいかどうかは別として、志望校を定めている生徒を大学情報把握型とした。大学のイメージや進学した知人の存在からくる親近感、印象の良さなどで志望している生徒を支持共感型とした。都会への憧れ、地元からの脱出など、環境を変えることに大学進学の希望とみなしているものを環境変革型とした。

志望校選択に関して、影響力をもった意見について調べたのが表8である。この設問ではAからHまでの選択肢を影響力の強い順に並べ替えさせるものであった。全体の37.8%にあたる70名が回答し、並べ替えを実行したのはその半分に満たなかった。ここでは影響力のあるものとして第1位にあげられたもののみを表とした。全体の32.8%、女子の48.6%（表には現れないが男子の13.3%）が影響力第1位にあげたのは母親の意見であった。全体の16.4%、女子の16.2%（同じく男子の16.6%）が父親の意見を第1位にあげ、教師の意見、その他として「自分の意見」がほぼ同数でならんでいた。男子がもっとも多くあげたのは教師の意見で、25.5%を占めた。男女の違いが顕著で興味深い結果となった。なお、「その他」の回答には、自分の意見（11名）、塾の先生（1名）、影響はない、無回答（各1名）であった。影響力のないものとしてあげられた回答を表9に示した。

また、大学に期待している（求めている）こと、大学についてイメージしていることについての自由記述の内容を、それぞれ表10、表11に示した。

今回実施する講義に対する興味、興味のある場合の理由、興味のない場合の理由、本講義に期待することについて尋ねた回答を表12、表13、表14、表15に示した。興味が「A. とてもある」は4.0%、「B. 少しある」は16.0%、「D. あまりない」は13.7%、「E. まったくない」は14.9%となっている。

広島大学に進学したいと思うかどうか、進学したい理由、決めかねる理由、進学したくない理由の設問の回答について、それぞれ表16、表17、表18、表19に示した。

表1 附属高校第1学年生徒数及び回答者数

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 生徒数 | 41 (16) | 41 (17) | 41 (17) | 41 (17) | 41 (17) | 205 (84) |
| 事前調査 回答者数 | 33 (13) | 40 (17) | 35 (16) | 40 (17) | 40 (17) | 188 (80) |
| 事後調査1 回答者数 | 38 (16) | 40 (17) | 40 (17) | 39 (16) | 41 (17) | 198 (83) |
| 事後調査2 回答者数 | 37 (14) | 40 (17) | 38 (15) | 36 (14) | 38 (15) | 189 (75) |
| 事後調査3 回答者数 | 37 (14) | 39 (16) | 36 (13) | 37 (15) | 38 (15) | 187 (73) |

表3 附中への進学理由（複数回答）

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A 中高一貫 | 13 (9) | 14 (6) | 9 (6) | 17 (9) | 14 (8) | 67 (38) |
| B 男女共学 | 11 (9) | 14 (9) | 11 (6) | 9 (5) | 6 (5) | 51 (34) |
| C 兄弟 | 2 (1) | 0 (0) | 1 (1) | 3 (2) | 0 (0) | 6 (4) |
| D 親の勧め | 4 (1) | 6 (4) | 4 (2) | 7 (5) | 4 (3) | 25 (15) |
| E 歴史・伝統 | 1 (1) | 1 (0) | 2 (2) | 1 (0) | 0 (0) | 5 (3) |
| F 大学進学率 | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 2 (1) | 3 (2) | 6 (3) |
| G 校風 | 10 (7) | 5 (3) | 6 (4) | 2 (2) | 4 (3) | 27 (19) |
| H 先生の勧め | 2 (1) | 3 (2) | 0 (0) | 2 (0) | 3 (3) | 10 (6) |
| I 親が卒業生 | 0 (0) | 1 (1) | 2 (2) | 2 (1) | 1 (1) | 6 (5) |
| J 他にない | 2 (0) | 1 (1) | 1 (1) | 0 (0) | 2 (1) | 6 (3) |
| K 通学の便 | 1 (1) | 4 (3) | 6 (3) | 6 (3) | 2 (1) | 19 (11) |
| L 同窓会 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| M 授業の質 | 0 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 2 (1) | 0 (0) | 4 (1) |
| N 世間の評判 | 2 (1) | 3 (1) | 2 (0) | 0 (0) | 4 (2) | 11 (4) |
| O その他 | 2 (1) | 6 (4) | 7 (3) | 7 (4) | 4 (2) | 26 (14) |

表4 附高への進学理由（複数回答）

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|---------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A 中高一貫 | 19 (11) | 17 (7) | 16 (8) | 16 (8) | 14 (8) | 82 (42) |
| B 男女共学 | 10 (8) | 12 (6) | 9 (5) | 10 (5) | 9 (5) | 50 (29) |
| C 兄弟 | 3 (1) | 2 (1) | 1 (1) | 3 (2) | 0 (0) | 9 (5) |
| D 親の勧め | 6 (2) | 3 (2) | 2 (0) | 4 (4) | 7 (2) | 22 (10) |
| E 歴史・伝統 | 4 (2) | 5 (0) | 5 (2) | 6 (2) | 2 (1) | 22 (7) |
| F 大学進学率 | 3 (1) | 5 (3) | 1 (1) | 8 (4) | 6 (4) | 23 (13) |
| G 校風 | 11 (5) | 12 (5) | 11 (5) | 12 (7) | 13 (5) | 59 (27) |
| H 先生の勧め | 3 (0) | 6 (3) | 0 (0) | 4 (2) | 3 (1) | 16 (6) |
| I 親が卒業生 | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 1 (1) | 0 (0) | 2 (2) |
| J 他にない | 6 (1) | 9 (6) | 5 (3) | 7 (1) | 7 (5) | 34 (16) |
| K 通学の便 | 4 (2) | 3 (2) | 6 (3) | 4 (4) | 2 (1) | 19 (12) |
| L 同窓会 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| M 授業の質 | 1 (1) | 2 (1) | 3 (2) | 3 (0) | 2 (1) | 11 (5) |
| N 世間の評判 | 8 (3) | 9 (4) | 8 (0) | 5 (4) | 3 (2) | 33 (13) |
| O その他 | 1 (0) | 4 (1) | 6 (4) | 6 (1) | 3 (2) | 20 (8) |

表2 附属中学出身者数

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A Yes | 20 (11) | 23 (11) | 21 (11) | 22 (11) | 21 (12) | 107 (56) |
| B No | 12 (2) | 17 (6) | 14 (5) | 18 (6) | 17 (5) | 78 (24) |

表5 進学大学の具体化

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|----------|------------|------------|-----------|------------|------------|-------------|
| A 考えている | 8 (1) | 15 (6) | 14 (8) | 21 (11) | 11 (6) | 69 (32) |
| B 考えていない | 24 (12) | 25 (11) | 21 (8) | 19 (6) | 27 (11) | 116 (48) |

表6 進学大学の所在地

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|---------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|------------|
| B 関東 | 8 (3) | 8 (3) | 9 (4) | 11 (4) | 10 (4) | 46 (18) |
| D 東海 | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 2 (0) | 4 (0) |
| E 近畿 | 10 (1) | 11 (3) | 9 (5) | 14 (8) | 9 (2) | 53 (19) |
| F 中国 | 6 (1) | 12 (5) | 9 (7) | 12 (8) | 6 (4) | 45 (25) |
| H 九州・沖縄 | 1 (0) | 1 (0) | 1 (1) | 3 (1) | 2 (0) | 8 (2) |

注：A 北海道・東北，C 甲信越・北陸，G 四国，I 外国は回答者なし

表7 志望校（大学所在地）とその動機

（丸番号は志望順位，[] 内はその理由）

男子（39回答）

I. 目標確定型（5回答）

①東京工業大学5類工学部情報工学科，②東京工業大学1類理学部情報工学科，③京都大学工学部情報学科[情報(工)学を学ぶのに素晴らしい所だから] / 東京大学工学部航空宇宙工学科[そこで学びたいから] / ①京都大学理学部理学科，②名古屋大学理学部物理学科[天体物理・素粒子物理学を学ぶのに良い環境だと知ったから] / ①京都大学薬学部薬化学科，②広島大学薬学部薬化学科，③広島大学工学部第三類[自分の実力になるべく合った大学に行きたいから] / ①京都大学法学部政治学科，②同志社大学経済学部，③広島大学文学部[進路，好きな学問，研究のレベル]

II. 情報把握型（13回答）

①一橋大学法学部[文系が強い] / ①京都大学[自分のやりたいことがあるから] / ①一橋大学商学部，②神戸大学経営学部，③横浜大学経営学部[経営戦術を学ぶためには，とてもいい条件がそろっているから] / ①東京大学文Ⅱ，②一橋大学経済学部，③広島大学医学部医学科[将来就きたい仕事を考えて。広大は近くにあるから] / ①東京大学理科2類，②東京大学理科1類[良い環境で学びたいから] / ①名古屋大学，①岡山大学，③広島大学の順で医学部・薬学部・理工学部[有名で地位が高いから。東京や京都，大阪は嫌だから。] / ①京都大学工学部，②東京大学工学部，③北海道大学理学部[レベルが高いから] / ①京都大学工学部[評判もよく，中学のときからの目標であるから] /

①京都大学法学部, ②一橋大学法学部 [高いレベルだから] / ①京都大学法学部, ②東京大学法学部, ③一橋大学法学部 [超名門校だから] / ①京都大学 [最大の目標だから] / ①大阪大学応用理工学部 [工学部の中では全国で一番設備が整っていると聞いたから。] ①広島大学法学部, ②京都大学法学部, ③東京大学法学部 [第1志望は近さと学力が合っているから, 第2志望は京都が好きだから]

Ⅲ. 支持共感型 (8回答)

①東京大学, ②大阪大学, ③九州大学 [レベルが高そう] / ①京都大学 [姉が行っていて楽しそう。京都も好き。自由という校風に惹かれる。大学のブランド] / ①神戸大学経営・商・法学部, ②早稲田大学経営・商・法学部 [よく知らないが親族が行っていたから。よく知らないが尊敬する先生に「行け」と言われたから] / ①神戸大学経済学部 [関西に親せきとか友達がいっぱいいるから。] / ①広島大学 [なんとなく] / ①広島大学医学部医学科 [父がそこで働いているから] / ①九州大学 [印象がいい] / ①沖縄県 [土地がら的に自分の雰囲気合っている]

Ⅳ. 近隣志向型 (5回答)

①広島県, ②東京都, ③京都府 [近いから] / ①広島大学教育学部, ②京都府, ③兵庫県 [近いから] / ①広島大学 [自分の住んでいる県で, 身近だから] / ①広島大学 [近くにある] / ①広島大学歯学部 [近い]

Ⅴ. 環境変革型 (8回答)

①東京都, ②京都府, ③福岡県 [とりあえず広島から出たい] / ①東京大学, ②京都大学 [都会にある, 偉いから] / ①東京都 [広島から出たい, 都会に行きたいから] / ①東京都 [東京にいこー] / ①近畿地区 [都会の教育ほど進んでいると思ったから] / ①大阪・京都・兵庫, ②埼玉, ③福岡 [街のよさ。都市の規模, 充実さ。] / ①京都大学 [京都へ行こうと思った] / ①近畿地区 [地下鉄がありそう]

女子 (31回答)

I. 目標確定型 (10回答)

①大阪大学医学部医学科, ②早稲田大学先進理工学部生命医学科 [生物, 病気の治療法の研究に興味があるから] / ①東京芸術大学美術学部デザイン科 [美大で一番レベルが高いから周りの生徒のレベルも高いだろう。大学を口実に東京に行けるから。安い。人脈づくり] / ①東京医科歯科大学歯学部歯学科 [最高峰だし, とにかくあこがれだから] / ①東京大学文科一類 [国連に入りたかったから, etc...] / ①大阪大学医学部保健学科, ②大阪教育大学医学部保健学科, ③広島大学医学部保健学科 [大阪に行きたい。養護の先生になりたい] / ①広島大学医学部医学科, ②神戸大学医学部医学科, ③大阪大学医学部医学科 [研究者になりたいです] / ①広島大学歯学部 [昔からその関係のことに少し興味があったから] / ①広島大学薬学部 [薬ざい師になりたいから] / ①広島大学医学部医学科 [昔から医師になることが夢だったため] / ①広島大学医学部 [父のようになるのが一生の目標だから]

Ⅱ. 情報把握型 (2回答)

①東京大学文Ⅱ, ②京都大学経済学部, ③一橋大学経済学部 [評判] / ①東京大学文Ⅰ, ②東京大学文Ⅱ, ③一橋大学 [東大というレベルの高い環境で学びたいから。また, 司法試験の合格率も高く, 東大出身ということは人生でもプラスになるだろうから。]

Ⅲ. 支持共感型 (10回答)

①東京都, ②京都府 [質の高い教育を広い範囲で受けられそうだし, 自分が興味のある分野だから] / ①東京都 [親戚がいる為] / 東京都 [父が最終的に関東で暮らすらしいので] / ①京都大学, ②横浜大学, ③弘前大学 [①母が「京都に気軽に遊びに行きたい」と言っていたから, ②尊敬する人の出身大学だから, ③父が出身の大学だから] / ①京都大学農学部, ②広島大学理学部生物科学科 [京大は祖父の出身大学だからで, 広大はなんとなく?] / ①京都大学文学部 [校風, 京都が好き] / ①神戸大学理学部, ②大阪大学薬学部, ③九州大学薬学部 [人から聞いた大学の様子が良く, 目標としておける大学だったから] / ①広島大学, ②九州大学 [広島大学の人多くふれあって, 行きたいと思った] / ①広島大学 [広島に住んでいるからと, 親の勧め] / ①広島大学 [地元だから。好きだから]

Ⅳ. 近隣志向型 (8回答)

①広島大学医学部医学科, ②鳥根大学医学部医学科 [通学の便が良く, また国立なので授業料の関係で] / ①広島大学医学部医学科 [医学部に行きたい。地元がまず一番行きたいから] / ①広島大学 [家からかよえる国公立] / ①広島大学 [国立だから, 近いから] / ①広島大学教育学部 [近いし, 良い教育学部があるから] / ①広島大学 [家からいちばん近い国公立大学。] / ①広島大学教育学部家庭科, ②広島大学教育学部体育科 [距離も丁度いいし希望の学科があるから] / ①広島大学 [通いやすいから]

Ⅴ. 環境変革型 (1回答)

①大阪大学薬学部, ②神戸大学 [広島より都会に行きたいから]

表8 影響力第1位

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| A 父親 | 3 (1) | 3 (2) | 2 (1) | 2 (1) | 1 (1) | 11 (6) |
| B 母親 | 3 (2) | 4 (2) | 4 (4) | 9 (8) | 2 (2) | 22 (18) |
| C 兄姉 | 1 (0) | 0 (0) | 2 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 3 (1) |
| D 祖父母 | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 2 (0) |
| E 親類 | 1 (1) | 1 (1) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 3 (2) |
| F 教師 | 2 (0) | 4 (1) | 2 (1) | 0 (0) | 2 (1) | 10 (3) |
| G 友人 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 2 (0) | 0 (0) | 2 (0) |
| H その他 | 2 (0) | 3 (1) | 1 (1) | 2 (1) | 6 (4) | 14 (7) |

表11 大学のイメージ

いそがしい/おもしろいところ/つまらなそう/とても自由で, 努力する人のたくさんいるすばらしいところ/バイトができる/私服/自由/勉強しながら, 社会に出る準備をすところ/入学がむずかしい/専門的な勉強

表9 影響力のないもの（複数回答）

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| A 父親 | 2 (1) | 5 (1) | 3 (2) | 2 (1) | 3 (2) | 15 (7) |
| B 母親 | 0 (0) | 5 (0) | 1 (0) | 2 (1) | 1 (0) | 9 (1) |
| C 兄弟 | 4 (1) | 8 (3) | 4 (3) | 6 (4) | 4 (1) | 26 (12) |
| D 祖父母 | 4 (0) | 7 (3) | 5 (4) | 4 (3) | 5 (2) | 25 (12) |
| E 親類 | 4 (0) | 7 (3) | 3 (3) | 5 (4) | 4 (1) | 23 (11) |
| F 教師 | 2 (0) | 3 (0) | 3 (2) | 4 (2) | 3 (1) | 15 (5) |
| G 友人 | 3 (0) | 5 (2) | 4 (3) | 6 (4) | 4 (1) | 22 (10) |
| H その他 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |

表10 大学に期待すること

| |
|--|
| 自分の能力を高めてくれること（25件・社会で実践できる力をつけてくれること／理想の人へ近付かせてくれること／など） |
| 就職に役立つこと（23件・自分が就く職業に役に立つこと／就職率の高さ／など） |
| 楽しいキャンパスライフ（23件・楽しい大学生活／楽しさ、充実さ／など） |
| 質の高い教師や教育内容（22件・高校ではできない学習・研究／素晴らしい教授／学問のあり方を示してくれる／など） |
| 質の高い教育研究環境（19件・研究機関・高等教育機関としての様々な面での充実／最新の研究せつび／好きな学問にてっぺ的にとりくめる／など） |
| 自由（16件・自分のやりたいことができること／自由にさせてくれること／など） |
| 充実感（8件・充実した研究がしたい／充実した時間／など） |
| 人との出会い（6件・いい先生、いい友人に出会うこと／附属より高いレベルの人間／など） |
| その他（16件・きこえのよさ／学費の安さ／休みが長い／特に何も／まだよく分からない／など） |

表12 今回の授業内容への興味

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A とてもある | 1 (0) | 1 (0) | 1 (1) | 1 (0) | 3 (2) | 7 (3) |
| B 少しある | 4 (3) | 5 (2) | 5 (5) | 7 (4) | 7 (3) | 28 (17) |
| C どちらともいえない | 14 (4) | 19 (7) | 22 (8) | 20 (7) | 15 (8) | 90 (34) |
| D あまりない | 7 (4) | 7 (6) | 1 (0) | 6 (3) | 3 (3) | 24 (16) |
| E 全くない | 2 (2) | 6 (2) | 5 (1) | 4 (1) | 9 (1) | 26 (7) |

表13 興味ある理由

| |
|--|
| 知らないことを知りたいから／伝統ある学生なのに、歴史を何も知らないから知りたい為／自分の将来のことだから／なぜかは分からない／難しいから／みんないきいきして |
|--|

いるから／なんとなく／大学に興味があるから／附属の歴史に興味がある／大学進学を目指しているので、具体的に大学がどのような所なのか知っておきたい／一人じゃわからないから／特に理由なし／よく知らないことだから／大学進学の意味など大切なことを学べそうだから／大学へ行くことの意味を先生方がどう捉えているか興味がある／知らないことだから／このような質問がどのように／大学や大学進学のことを気になるから／歴史が長く、校風のゆらぎが気になるから／大学でのことをすこしでも知れるから／知りたいから／大学の雰囲気をつかむため／自分のためになるから？／高校より上だから／進路学習の一つであり、その中でも特に大きな授業だから／大学についてだから／歴史を知らないから／母校のこと、大学のことをくわしく知りたいと思っていたから／おもしろそう／知らない内容だから／あまり大学のことについて知らないから

表14 興味ない理由

興味がないから（類似回答9件）／時間をもったいない（類似回答2件）／先生の授業が楽しくない（おもしろくない）（類似回答2件）／難しそう（類似回答2件）／意味がないと思う（類似回答2件）／つまらなそう（類似回答3件）／歴史はあまり好きではない／早く家に帰りたいから／やりたいことは分かって意味のあることだと思うけど進んで聞こうとは思わない／知らなくても特に困ることはなさそうだから／どうでもいい／大学に行く意味など教えてもらわなくても、行きたい大学があるから／アイデンティティーが重い／（自分は）過去をふりかえらないから／このように型にはまったような授業では歴史の継承などではできない。母校の歴史とは、自分達がすすんで学ぶことであるので、興味はない／楽しくなさそうだから／役に立たないから／自分が通っている学校について学んでも得るものはないと考えるから／自分が知らないのに人に教えられるから／今、ここの学生なので話をきくより、肌で感じたい／大学の歴史より今の大学を知りたい／附属高校の歴史はどうでもいい、大学も自分に直接は関係なさそう／実感がわからないから／眠い／楽しくなさそうだから／知りませんでした／上の兄弟もおらず、「大学」に対する知識・意識がない為／内容が私の気をひかない／特に本校に興味はないし、もう自分の行きたい所は決定しているので。入試情報は聞きたい／受験のためだけの勉強だと感じるため

表15 授業に期待すること

ない（類似回答39件）／おもしろさ（類似回答9件）／わかりやすさ（類似回答7件）／大学を選ぶ際、参考にできることがあったらいいです（類似回答4件）／大学での生活をよくわかるように説明してほしい（類似回答4件）／意外性（皆の見解を覆すような）（類似回答2件）／内容を深く掘り下げてほしい、表面的なことなら聞く意味はあまりない／入試情報を教えてもらうこと／眠くならない、新しい見解がひらけるような内容を期待します／すべての大学のデータを一覧にして紹介すること／トリビアとか／ねむくならないかんの…／教師のレベル／大学進学の意味を明確に理解したい／大学の本質について知りたい

表16 広島大学への進学

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| A したい | 4 (1) | 5 (2) | 5 (4) | 3 (2) | 3 (3) | 20 (12) |
| B できればしたい | 4 (3) | 11 (5) | 5 (2) | 5 (2) | 4 (2) | 29 (14) |
| C どちらとも | 13 (5) | 12 (8) | 12 (4) | 16 (8) | 21 (10) | 74 (35) |
| D できればしたくない | 6 (2) | 5 (2) | 6 (1) | 6 (1) | 4 (1) | 27 (7) |
| E まったくしたくない | 3 (1) | 4 (0) | 6 (4) | 7 (1) | 3 (0) | 23 (6) |

表17 進学したい理由

近いから(類似回答22件) / 興味のある学部があるから(類似回答7件) / ずっと小学校からかよっているため/医学部が東大と同じレベルらしいから/医師になるのは地元が良いらしいので/楽しそうだから/広いし、設備が充実してそうだから。授業のレベルが高そうだから/広大に知り合いがいっぱいいる。広大が良いと思うから/国立なので授業料が安いし、1人暮らしをする必要もないので。/自分の将来の夢を実現するのにいいと思うから/手頃/前いちどいつてひかれたから/大変すばらしい大学だと聞いているから/地理条件が良い/通学の便がよく、また国立で充実した講義を受けられそうだから/東大や京大は難しすぎる気がするから/特に他にいきたい大学があるわけでは無いから/本当を言うと大学自体に行きたくないが、どうせ行くなら家から近く、そこそこ有名な広大に行きたいから

表18 広島大学を決めかねる理由

他の大学にも興味があるから。(類似回答10件) / 他にいくところがあるから(類似回答8件) / 広大のことをよく知らないから(類似回答6件) / 県外にでたい(類似回答6件) / まだわからない(類似回答5件) / あまり大学について考えてないから(類似回答4件) / 特に行きたい学部がない(類似回答4件) / 志望大学が決まってないため(類似回答3件) / 家から近い(類似回答3件) / もっとレベルの高い大学を目指したいから(類似回答3件) / 自分の夢が決まっていないので大学が決められないから(類似回答3件) / 自分の考えている学部に近いものがない(類似回答2件) / まだ決めていない(類似回答2件) / 大学について詳しく知らない(類似回答2件) / できれば広島ではなく関東、関西へ進学したいため(類似回答2件) / へんぴな位置にあるから(類似回答2件) / 自分の学力の不足(類似回答2件) / すごい大学なのはわかるけど、1人暮らしをしたい/どこがもっともよいか分らない/下宿費の負担が親にかかってしまうので/家から遠い/学びたいことが学べるかまだ知らないから/広大だから/広島大学附属中・高の教育体制に疑問をもつことがよくあるからです。3+3+6年も(12年)も広大にいるなんて嫌です/上の兄弟もおらず大学に対する知識がない為、なんともいえない。広大にいける学力に達することがなければ無理で、それ以上あるなら相応の大学に行きたいから/世間の評価/他の大学をまだ調べてないので/第1志望ではない。他になりたい職業がある/とくにない

表19 進学したくない理由

広島から出たいから(類似回答22件) / 地元だから一人暮らしができない(類似回答5件) / 学力が微妙(類似回答4件) / 大学くらい関東へ行きたい(類似回答3件) / いきたい大学があるから(類似回答3件) / まだ上に大学がある/やりたいことがあるから/医学部の研究設備が、県外の大学の方が整っているから。小・中・高と過ごして、広大はお金がないと思った。/医学部以外あまり偏差値が高くない上にへんぴな場所にあるから(類似回答2件) / 広島大学は、出身者とくに大学院・医学部出身者の子供を優先する風ちようがあるから/行きたい学部がない/とおいから/寒そうだから/父の影響/目的がない

3. 講義「広島大学附属高等学校の歴史」の実際

今年度は日程の都合上、2つの講義の順序を昨年と入れ替え実施した。昨年度は学校の歴史を時系列で編集したビデオ視聴を中心としたが、冗漫になってしまったという反省に立ち、講義の内容についてはテーマを絞った内容に再構成し、パワーポイントによるプレゼンテーションを行った。

アンケート調査の中に「進学理由」を尋ねる項目がある。昨年の結果は男女全体で「A. 中高一貫」、「G. 校風」、「B. 男女共学」の順であった。「A. 中高一貫」「B. 男女共学」については制度・システムであり、形として明確なものである。

「G. 校風」は形の無いものである。それは校外の人にどう映っているのであろうか。昔から附属は「自由な学校」であると捉えられている。昨年も本稿で論じたが、本校の「自由」は本来「やりたいことが何でもできる」「自分の考え判断し、自分の意志で行動できる自由が認められている」というものであった。それが昨今、時代の流れの中で附属の現場では「他の高校と比べて規則による締め付けがない」「窮屈でない」という意味に取られているように感じる。

今年度はこの点を焦点化し、本校の校風である「自由・自主・自律」とは実はどういうもので、それがどのような歴史の中で培われてきたのかを明らかにするようなものに講義内容を構成した。

便宜上、1905(明治38)年の創立から2008(平成20)年まで約100年の歴史を大まかに次のように区分した。

| | |
|-------|------------------|
| 1905年 | 創立 |
| 40年 | 戦前(5年制男子校) |
| 1945年 | 原爆により壊滅 |
| 30年 | 戦後(中高一貫・3年制男女共学) |
| 1975年 | 中高合同体育祭 |
| 30年 | |
| 2005年 | 現在に至る |

まずは創立した1905（明治38）年当時の社会状況を説明。附属中学校（現高校）の中では東京高等師範学校（現筑波大学）附属中学校に次いで2番目であり、広島県内で見ても他の旧制中学校と比べて創立年が早い方である。今と違って当時中学校は義務教育ではなく、ごく一部のそれも男子だけであった。

| | |
|-------------|----------------|
| 明治38（1905）年 | 56名（うち他県出身11名） |
| 明治39（1906）年 | 76名（同上 15名） |
| 明治40（1907）年 | 86名（同上 22名） |

（『附中一覽』明治40年発行より）

これは旧制高等学校（現大学）にも同じことが言えるが、高校進学でさえ義務教育のように位置付けている現在の生徒にとって、中学校に進む時点で「自主的・主体的」であった旧制の学制を学ぶことはとても意義深いと思われる。高校進学が（あるいは大学進学が）当たり前のようになり、かつ受動的になっている我が身を振り返らせたいと意図してのことである。

敗戦による学制改変だけに止まらず、「ヒロシマ」という地にあったことで原爆によって校舎すら全壊してしまう。これは広島市内にあった他の旧制中学校も同じであるが、本校は「中等教育実践研究校」であったことから、戦後の新制学校は「中高一貫校」「男女共学校」として新たなスタートを切る。本校進学の理由上位に挙げられた市内他校と性質を異にする2つの項目は、実はこの戦後に成立したことを認識させた。

戦後30年（1975年頃）までに本校で学んだ生徒が現在50歳～70歳で、社会の第一線で活躍されている方も多し。その中から今の高校生でも知っている著名な方を挙げ、彼らが附属高校在学中に思っていたこと、考えていたこと、また今振り返って附属とはどのような学校だったかを回顧した文章を取り上げた。

・松田元氏（1969年卒） 広島東洋カーブオーナー
「私の心に強く残っているのは、当時の校長先生の『フリーダムとリパティは違う』という言葉。この意味は当時は理解できなかったけど、今になってズシンと心に響く言葉だった。野放図と、自律した自由とは、本質で全く違いますから。つまり、『発想や着想は自由奔放に、しかし実際にそれを行動に移すときは自律あるものにしろ』ということだったんだろうと思います。」

・佐々江賢一郎氏（1970年卒）前アジア大洋州局長
「『自由と自律』。全人格的教育を目指しながらも個性を重んじる校風。そんな中で『夢』をどこまででも追いかけて行ってください。それが自由にできる、稀にみる学校なのですから。『夢』を追いかける事から、良い人生は始まると思います。」

・鬼武健二氏（1958年卒）Jリーグチェアマン
「現役生徒諸君には自己責任の下に好きなことが自由

に出来るという、恵まれた学校だということをもっと感じて、自分の個性を見つけてそれをどんどん伸ばして欲しいですね。簡単に言えば、自分が「これだ！」と感じたことを徹底的にやって欲しい。それが勉強でもよし、スポーツでも芸術でも。」

・松尾康二氏（1956年卒）カルビー株式会社 相談役
「我が校の伝統は、まさしく『人間教育』でありました。もちろん受験勉強もしましたが、これは自らの『自由・自律』の精神からの選択であり、学校が強制することはなく、文化活動も熱心に出来る雰囲気がありました。この校風に自信を持ち、文化・学業の両面に励んでもらいたい。」

（いずれも同窓会会報「アカシア」より抜粋）

これら先輩方の言葉から生徒たちは何を感じてくれたらうか。

戦後30年以降で大きな転換といえば、「中高合同体育祭の復活」である。新制になって中高一貫であるとはいえ、内実は中学校、高等学校が同じ敷地にあるというだけで、中高の連関性は疎であった。文化祭や体育祭などの学校行事も一時期は一緒に行っていたこともあるが、中学高校が単独でそれぞれ運営していた時期が長い。

それを1975（昭和50）年、当時の高校生徒会執行部が「中高合同体育祭」を掲げ、次のように教員に申し出た。「運動会の運営をぼくたちにまかせてください。」現在の附属の特徴である企画、準備、運営、総括、すべてを生徒の手で取り仕切る「体育祭」はこの一言から始まった。

以上のような内容を約50分の時間に納め講義した。「校風」というものは形がなく目には見えないが、まさに本校のアイデンティティーである。そこに学ぶ生徒としてどう受け止め行動しなければならぬか、内発的に考えてもらえるよう学校の歴史を通して教条的にならないよう講義を構成したつもりである。

既存のVTRを流して簡単に補足しただけの昨年のもより、幾分か生徒の反応もよかったように思われる。

4. 事後調査の結果

以下、事後調査の結果を示す。

第1講義「広島大学附属高等学校の歴史」について、受講前の期待との適合度、内容への興味、難易度、満足度に関する設問の回答を表20、表21、表22、表23にそれぞれ示した。

附属高史の授業をほかの附属生にも勧めたいと思いますかとの設問に対する回答を表24に示した。「A. とても勧めたい」が5.1%、「B. 勧めたい」が19.2%、

「D. 勧めたくない」が3.5%、「E. まったく勧めたくない」が2.0%であった。自由記述としては「もっと自分の通っている学校について知った方がいいと思うから。」「皆にこの気持ちがあれば学校としてよりよくなれると思うから。」「歴史を知ったらもっと責任ある行動がとれるはずモチベーション上昇にもつながるかも」などの回答があった。

このような自校史の授業をほか同年代の高校生にも勧めたいと思いますかとの設問に対する回答を表25に示した。「A. とても勧めたい」が4.1%、「B. 勧めたい」が11.3%、「D. 勧めたくない」が10.3%、「E. まったく勧めたくない」が3.1%であった。自由記述としては「自分の母校について、詳しく知ることができたら、自分に誇りが持てると思うから。」「自分の学校について深く知り、3年間をより充実したものにできるから」などの回答があった。

第2講義「日本の大学の歴史」について、受講前の期待との適合度、内容への興味、難易度、満足度に関

する設問の回答を表26、表27、表28、表29にそれぞれ示した。

大学史の授業をほかの附属生にも勧めたいと思いますかとの設問に対する回答を表30に示した。「A. とても勧めたい」が2.6%、「B. 勧めたい」が14.3%、「D. 勧めたくない」が6.3%、「E. まったく勧めたくない」が1.1%であった。自由記述としては「これで勉強する気がでると思うから。」「自分の行きたい大学はどのような目的でつくられたのかを知れば、その学校と自分の相性が分かるだろうから。」などの回答があった。

大学史の授業を附属生以外の同年代の高校生にも勧めたいと思いますかとの設問に対する回答を表31に示した。「A. とても勧めたい」が2.1%、「B. 勧めたい」が14.4%、「D. 勧めたくない」が3.2%、「E. まったく勧めたくない」が3.7%であった。自由記述としては「興味ないよ」という否定が6名、別の意味で勧めたくない理由として「進学について有利な情報を他の学校で流してほしくない。」との回答も含まれた。

表20 期待適合度 (附属高史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A 期待通り | 6 (1) | 8 (4) | 10 (5) | 11 (3) | 10 (3) | 45 (16) |
| B ある程度期待 | 11 (6) | 12 (3) | 14 (4) | 13 (8) | 15 (8) | 65 (29) |
| C どちらでもない | 16 (8) | 17 (8) | 14 (7) | 13 (5) | 12 (5) | 72 (33) |
| D あまり期待通りではない | 1 (1) | 2 (1) | 1 (1) | 2 (0) | 1 (0) | 7 (3) |
| E 期待はずれ | 4 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 3 (1) | 8 (1) |

表21 内容への興味 (附属高史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|----------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|
| A とても興味を覚えた | 2 (0) | 2 (1) | 2 (2) | 3 (1) | 1 (0) | 10 (4) |
| B 興味を覚えた | 16 (7) | 11 (8) | 14 (4) | 12 (8) | 14 (8) | 67 (35) |
| C どちらでも | 17 (8) | 26 (7) | 20 (11) | 19 (5) | 22 (6) | 104 (37) |
| D あまり興味を覚えなかった | 1 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 3 (1) | 2 (2) | 7 (4) |
| E 全く興味をおぼえなかった | 2 (1) | 0 (0) | 4 (0) | 2 (1) | 2 (1) | 10 (3) |

表22 難易度 (附属高史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-------------|
| A とても難しかった | 1 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) |
| B 難しかった | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| C 適度だった | 19 (9) | 22 (9) | 23 (8) | 22 (10) | 25 (11) | 111 (47) |
| D 易しかった | 15 (6) | 14 (6) | 10 (5) | 13 (6) | 12 (6) | 64 (29) |
| E とても易しかった | 3 (0) | 4 (2) | 7 (4) | 4 (0) | 4 (0) | 22 (6) |

表23 内容満足度 (附属高史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| A とても良かった | 3 (0) | 3 (2) | 5 (4) | 3 (2) | 2 (0) | 16 (8) |
| B 良かった | 15 (6) | 18 (6) | 15 (6) | 12 (5) | 16 (9) | 76 (32) |
| C どちらでもない | 18 (9) | 19 (9) | 19 (7) | 22 (8) | 22 (8) | 100 (41) |
| D あまり良くなかった | 2 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 3 (1) |
| E 全く良くなかった | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 1 (1) | 1 (0) | 3 (1) |

表24 他の附属生への推奨度 (附属高史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A とても勧めたい | 2 (0) | 2 (0) | 2 (0) | 3 (0) | 1 (0) | 10 (0) |
| B 勧めたい | 10 (2) | 6 (2) | 9 (5) | 8 (3) | 5 (3) | 38 (15) |
| C どちらでも | 22 (12) | 32 (15) | 26 (10) | 26 (12) | 33 (14) | 139 (63) |
| D 勧めたくない | 2 (1) | 0 (0) | 2 (2) | 2 (1) | 1 (0) | 7 (4) |
| E 全く勧めたくない | 2 (1) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 4 (1) |

表25 同世代への推奨度 (附属高史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A とても勧めたい | 0 (0) | 1 (0) | 4 (1) | 2 (0) | 1 (0) | 8 (1) |
| B 勧めたい | 5 (1) | 4 (0) | 4 (1) | 5 (2) | 4 (2) | 22 (6) |
| C どちらでも | 26 (13) | 31 (16) | 24 (11) | 28 (12) | 29 (10) | 138 (62) |
| D 勧めたくない | 5 (2) | 2 (0) | 5 (3) | 3 (2) | 5 (4) | 20 (11) |
| E 全く勧めたくない | 1 (0) | 0 (0) | 3 (1) | 1 (0) | 1 (0) | 6 (1) |

受講したことで附属高等学校に関する認識は変わりましたかとの設問に対する回答を表32に示した。「A. とても変わった」が1.6%,「B. ある程度変わった」が11.3%,「D. あまり変わらなかった」が9.1%,「E. まったく変わらなかった」が6.5%であった。

受講したことで日本の大学に関する認識は変わりましたかとの設問に対する回答を表33に示した。「A. とても変わった」が4.3%,「B. ある程度変わった」が16.0%,「D. あまり変わらなかった」が9.6%,「E. まったく変わらなかった」が3.7%であった。

受講したことで広島大学に関する認識は変わりましたかとの設問に対する回答を表34に示した。「A. とても変わった」が8.6%,「B. ある程度変わった」が18.3%,「D. あまり変わらなかった」が11.8%,「E. まったく変わらなかった」が10.2%であった。

受講したことによって事前調査に回答した進学したい大学に変化が生じたかとの設問に対する回答を表35に示した。ちなみに「A. 変化した」と回答した

生徒6名の変更後の第1志望校をみると、広島大学3名、大阪大学2名、東京工業大学1名となっていた。

広島大学に進学したいと思いますかとの問いに対する回答を表36に示した。この設問は事前調査の表20におけるデータと対を成している。「A. とても進学したい」は11.6%から8.6%に低下,「B. できれば進学したい」は16.8%から18.3%に上昇,進学したい者の割合は28.3%から26.9%に低下した。「D. できれば進学したくない」は15.6%から11.8%に低下,「E. まったく進学したくない」は13.3%から10.2%に低下,進学したくない者の割合は22.0%から28.9%に上昇した。「A. とても進学したい」を減少させてしまったことは本講義にとって負の効果となっているが,逆に言えば授業が広島大学を独善的に顕彰するような偏った内容,例えば個別大学で行われる入学説明会のような内容ではなかったことを示しているとも言えよう。また,進学したくない生徒の割合を削減できており,日本の大学や広島大学の歴史に関する具体的な知識を獲得し

表26 期待適合度 (大学史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|---------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A 期待通り | 4 (1) | 6 (2) | 8 (2) | 6 (4) | 5 (1) | 29 (10) |
| B ある程度期待通り | 14 (3) | 7 (2) | 16 (8) | 12 (5) | 16 (8) | 65 (26) |
| C どちらでもない | 17 (10) | 26 (13) | 9 (2) | 18 (5) | 15 (6) | 85 (36) |
| D あまり期待通りではない | 2 (0) | 1 (1) | 4 (2) | 0 (0) | 1 (0) | 8 (3) |
| E 期待はずれ | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 2 (0) |

表27 内容への興味 (大学史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|----------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-------------|
| A とても興味を覚えた | 0 (0) | 1 (1) | 1 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 4 (1) |
| B 興味を覚えた | 8 (1) | 4 (2) | 7 (3) | 8 (6) | 12 (6) | 39 (18) |
| C どちらでもない | 25 (10) | 33 (14) | 24 (11) | 22 (7) | 20 (6) | 124 (48) |
| D あまり興味を覚えなかった | 4 (3) | 2 (1) | 3 (0) | 5 (1) | 3 (2) | 17 (7) |
| E 全く興味を覚えなかった | 0 (0) | 1 (0) | 3 (1) | 0 (0) | 2 (1) | 6 (2) |

表28 難易度 (大学史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A とても難しかった | 0 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 2 (2) |
| B 難しかった | 3 (1) | 2 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 2 (1) | 7 (3) |
| C 適度だった | 26 (12) | 35 (13) | 31 (13) | 31 (13) | 28 (12) | 151 (63) |
| D 易しかった | 6 (1) | 2 (2) | 5 (2) | 3 (0) | 5 (1) | 21 (6) |
| E とても易しかった | 2 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 2 (1) | 2 (0) | 7 (1) |

表29 満足度 (大学史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| A とても良かった | 3 (0) | 2 (1) | 2 (1) | 0 (0) | 1 (0) | 8 (2) |
| B 良かった | 15 (4) | 11 (6) | 13 (7) | 14 (5) | 13 (7) | 66 (29) |
| C どちらでもない | 18 (9) | 26 (9) | 21 (6) | 19 (8) | 21 (7) | 105 (39) |
| D あまり良くなかった | 1 (1) | 1 (1) | 1 (1) | 3 (1) | 2 (1) | 8 (5) |
| E 全く良くなかった | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 2 (0) |

表30 他の附属生への推奨度 (大学史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-------------|
| A とても勧めたい | 1 (0) | 0 (0) | 2 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 5 (0) |
| B 勧めたい | 3 (1) | 4 (3) | 9 (5) | 4 (3) | 7 (5) | 27 (17) |
| C どちらでもない | 30 (11) | 33 (12) | 25 (10) | 29 (10) | 26 (8) | 143 (51) |
| D 勧めたくない | 3 (2) | 3 (2) | 1 (0) | 2 (1) | 3 (1) | 12 (6) |
| E 全く勧めたくない | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 2 (1) |

表31 同世代への推奨度 (大学史)

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A とても勧めたい | 0 (0) | 0 (0) | 2 (0) | 0 (0) | 2 (0) | 4 (0) |
| B 勧めたい | 4 (0) | 4 (2) | 10 (4) | 6 (2) | 3 (1) | 27 (9) |
| C どちらでもない | 29 (13) | 32 (13) | 24 (11) | 29 (12) | 30 (12) | 144 (61) |
| D 勧めたくない | 1 (1) | 2 (2) | 1 (0) | 0 (0) | 2 (1) | 6 (4) |
| E 全く勧めたくない | 2 (0) | 2 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 1 (1) | 7 (1) |

たことで、生徒の大学に対する一方的な幻想や無知から来る先入観をそぎ落とせたのではないかと考える。

授業の続きを実施するとしたら、あなたはその授業を受けたいと思いますかとの設問に対する回答を表37に示した。「A.とても思う」が2.7%、「B.思う」が25.5%でそれらの合計が28.3%の52名、「D.あまり思わない」が17.9%、「E.まったく思わない」が12.5%でそれらの合計が30.4%の56名であった。「E.まったく思わない」を回答した生徒が多いことを考慮すると、集団全体としてはどちらかといえばこの授業の続きは歓迎されていないと言えよう。

5. 小 括

以上提示したデータによれば、本調査における講義は事前調査において生徒から否定的に受け取られていたが、事後調査では概ね好評であったことがわかる。

調査票の最後に設けた調査全体への自由記述欄には78名が記入した。そのうち30件は「特になし」との記

述だった。「退屈」との否定的な意見が1件、「マイクの音量が少し小さかった。」「スクリーンの字がゆれとったんで読みにくかった。」など内容に直接関わらない指摘や感想が9件、「他の大学のことも知りたい」「日本初の幼稚園が気になります」といった要望6件だった。それ以外の32名は「歴史を知れて良かった。」「(このような授業を)定期的に実施しても良いのではないか。」などの肯定的な意見であった。

本調査の目的に照らして価値の高い回答としては、「もっと大学について知らないといけないと思いました。」「今日はしらなかったことがたくさん知れてよかった。自分も自分の意志で大学を決めてそれにむけてがんばりたいと思った。」「大学のことをもっと知ったら、自分の進路選択にもっと自信がもてることがわかった。」などの言葉が寄せられた。わずか2時間あまりの講義が17.1%（肯定的意見32÷回答総数187）の生徒に受け入れられ、大学進学に向きあう上で啓発効果がみられたことは注目して良いであろう。

表32 附属高に関する認識

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|--------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|
| A とても変わった | 1 (0) | 0 (0) | 2 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 3 (0) |
| B ある程度変わった | 2 (2) | 6 (1) | 5 (1) | 5 (3) | 3 (2) | 21 (9) |
| C どちらでも | 27 (10) | 31 (15) | 21 (9) | 24 (9) | 30 (11) | 133 (54) |
| D あまり変わらなかった | 5 (2) | 1 (0) | 4 (3) | 3 (0) | 4 (1) | 17 (6) |
| E 全く変わらなかった | 2 (0) | 1 (0) | 4 (0) | 4 (2) | 1 (1) | 12 (3) |

表33 日本の大学に関する認識

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|--------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|
| A とても変わった | 1 (0) | 1 (0) | 3 (1) | 2 (1) | 1 (1) | 8 (3) |
| B ある程度変わった | 9 (3) | 5 (3) | 6 (2) | 5 (2) | 5 (2) | 30 (12) |
| C どちらでもない | 22 (9) | 29 (12) | 21 (8) | 23 (8) | 29 (10) | 124 (47) |
| D あまり変わらなかった | 4 (1) | 4 (1) | 4 (2) | 5 (3) | 1 (1) | 18 (8) |
| E 全く変わらなかった | 1 (1) | 0 (0) | 2 (0) | 2 (0) | 2 (1) | 7 (2) |

表34 広島大学に関する認識

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A とても変わった | 2 (0) | 6 (2) | 4 (3) | 1 (1) | 3 (3) | 16 (9) |
| B ある程度変わった | 5 (3) | 10 (5) | 4 (2) | 6 (2) | 9 (3) | 34 (15) |
| C どちらでもない | 21 (9) | 15 (6) | 19 (4) | 22 (8) | 18 (7) | 95 (34) |
| D あまり変わらなかった | 4 (1) | 6 (3) | 4 (1) | 4 (2) | 4 (1) | 22 (8) |
| E 全く変わらなかった | 4 (1) | 2 (0) | 5 (3) | 4 (1) | 4 (1) | 19 (6) |

表35 志望校の変化

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A 変化した | 0 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 2 (0) | 2 (1) | 6 (1) |
| B 変化しなかった | 34 (12) | 38 (16) | 35 (13) | 31 (14) | 35 (14) | 173 (69) |

表36 広島大学への進学

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A とても進学したい | 2 (0) | 6 (2) | 4 (3) | 1 (1) | 3 (3) | 16 (9) |
| B できれば進学したい | 5 (3) | 10 (5) | 4 (2) | 6 (2) | 9 (3) | 34 (15) |
| C どちらともいえない | 21 (9) | 15 (6) | 19 (4) | 22 (8) | 18 (7) | 95 (34) |
| D できれば進学したくない | 4 (1) | 6 (3) | 4 (1) | 4 (2) | 4 (1) | 22 (8) |
| E まったく進学したくない | 4 (1) | 2 (0) | 5 (3) | 4 (1) | 4 (1) | 19 (6) |

表37 授業の続き

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 全体 |
|-------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| A とても思う | 0 (0) | 2 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 5 (0) |
| B 思う | 10 (1) | 6 (2) | 9 (4) | 8 (3) | 14 (8) | 47 (18) |
| C どちらともいえない | 15 (5) | 19 (11) | 13 (5) | 17 (8) | 12 (2) | 76 (31) |
| D あまり思わない | 8 (6) | 6 (2) | 6 (1) | 8 (3) | 5 (4) | 33 (16) |